



近畿財務局 京都財務事務所 統括国有財産管理官(1) 国有財産管理官 磯谷 祐輝

平成26年採用（財務専門官）

災害査定立会の業務に携わっていた期間（令和3年7月～令和5年6月）

◆ 業務内容

昨今、毎年のように豪雨や台風等の大規模な災害が全国各地で発生しています。

道路や河川、学校等の公共施設が被害を受け、人々の生活に大きく支障を来している様子は、皆様もニュース等でご覧になられることかと思えます。

これらの施設が被災した際は、一刻も早い復旧が求められますが、復旧には膨大な費用が必要であり、

管理者である地方公共団体等にとって大きな負担となります。そこで、国が復旧にかかる費用の一部を負担又は補助する制度が災害復旧事業であり、財務局では当該費用の調査を行う災害査定立会業務を担っております。

地方公共団体等から補助の申請を受けた主務省(国土交通省等)は、災害現地に係官(災害査定官等)を派遣し、災害復旧事業費の査定を行います。このとき、財務局も係官(立会管)を派遣します。そして、査定官と立会官は、申請者から災害現地で復旧方法や事業費について説明を受け、三者で議論を重ねたうえで事業費を決定します。

通常の公共事業の場合、予算要求から予算化まで相当の期間がかかりますが、災害査定立会において決定した事業費は、財務本省においてそのまま予算化されることにより、早期復旧を可能としています。また、補助率も通常の公共事業に比べて高率であり、被災地域の負担を軽減することができます。

◆ 業務のやりがい

財務局の立会官は、財政を主管する立場から、申請内容が法律等に則ったものとなっているか、各省間のバランスを保った公平かつ適正なものか等を確認する必要があります。こうした責任を担い、財務局から一人で出向き対応することからプレッシャーは大きいですが、やり遂げた時の達成感は大いいです。また、災害現場や現地の人々を見ると、早期の復旧が必要とされていると痛感し、非常に重要な業務を担っていると思えます。



◆ 受験生へのメッセージ

財務局では、財政・金融・国有財産等の多岐にわたる業務を実施しています。各分野において研修体制が充実していることから、基礎的な知識を積んだうえで業務に臨むことができます。

地域に貢献できるフィールドは多数あると思います。財務局は、組織内外の人と力を合わせながら、地域に貢献できる組織です。是非その一員になってください。

